

**5月22日 コロナ禍で頑張る先生たちへ  
市から花束とお菓子を贈呈**

子どもへの注意を払い、学童や保育園などで働く先生たちに感謝とねぎらいの意味を込め、市から花束とお菓子を贈呈。菊池第2さくら幼稚園の保育士は、「とてもうれしい。保育士としても今後、市を盛り上げていければ」と話しました。



今回の取り組みは、コロナの影響により打撃を受けている花き農家や花屋、菓子組合への支援も含め実施。40カ所に順次贈呈しました

**5月29日 瑞宝小綬章  
創造性をもった技術者の育成に貢献**

岩木龍一さん(富の原一)が瑞宝小綬章を受章しました。岩木さんは昭和44年から平成17年まで熊本高等専門学校(現熊本工業大学)の教鞭に立ち、電子デバイスや機器工学などの人材育成に尽力。退職後は学校から名誉教授の称号を授与されています。



岩木さんは「受賞できたのはこれまでに学生たちと一緒に研究を続けていくことができた結果だと思っています」と話しました

**6月2日 高齢者叙勲伝達式  
坂本正五さんが受章**

坂本正五さん(川上)が旭日双光章を受章し、市役所で伝達式が行われました。坂本さんは昭和52年に旭志村議会議員に初当選。6期24年にわたり在職し、地域の発展と住民福祉の向上に多大な貢献をされ、多くの功績を残しています。



坂本さん⑥は「めでたい章をいただき光栄です。一日一日を大事に一生涯やってきました。ありがとうございます」と挨拶しました

**5月22日 菊池女子高校  
菊池に響け! 青空コンサート**

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため外出を自粛している皆さんに少しでも楽しんでもらおうと、菊池女子高校の生徒会が演奏会を企画。3密を避け、屋上でトロンボーンやトランペット、三味線の演奏や唄を披露しました。



手前から松下恵さん、時松樹奈さん(2年)、岩原咲貴さん(3年)。「最後の音まで皆さんに届くように弾きました」と笑顔を見せました

**5月26日 ライオンズクラブ  
手指消毒用アルコールを寄贈**

菊池ライオンズクラブ(栗原康敏会長)が市へ酒造メーカー製造の消毒用アルコール500mL、60本を寄贈しました。菊池ライオンズクラブの皆さんは「小中学校の再開後、子どもたちの感染予防に役立ててほしい」と話しました。



菊池ライオンズクラブの皆さんと江頭市長。寄贈された手指消毒用アルコールは教育施設などで活用します

**5月29日 株式会社美少年  
自社製の消毒用アルコールを寄贈**

(株)美少年(千堂敬一郎代表)が製造した300mL入り瓶120本の手指消毒用アルコールを寄贈。6月1日から再開した市内小中学校の児童生徒に安心して楽しい時間を過ごしてもらいたいという思いから製造し、市へ贈りました。



現在、市内小中学校の児童生徒は寄贈された手指消毒用アルコールを活用し、学校生活を送っています

**5月18日 菊池温泉観光旅館組合、菊池市ゴルフ協会  
マスク4000枚を寄贈**

マスク不足の解消に役立ててほしいと、菊池温泉観光旅館組合(岩永誠会長)と菊池市ゴルフ協会がマスクを贈りました。チャリティイベントなどの利益の一部をもとに寄贈。岩永会長は「感染症予防に使って欲しい」と話しました。



④寄贈されたマスクを持つ職員。マスクは放課後児童クラブや介護施設などで活用します

**5月20日 ミルクセンター山鹿  
学校で消毒に役立てて**

ミルクセンター山鹿代表の深浦祐介さんが「友人が製造販売している次亜塩素酸水を役立ててほしい」と市へ寄贈。深浦さんは仕事の関係で菊池に訪れていることもあり、「学校も再開するので消毒に使ってほしい」と話しました。



次亜塩素酸水を渡す深浦さん④。5L30本を贈りました

**5月22日 ミライアル株式会社  
製作したフェイスガード1500枚を寄贈**

プラスチック業の主幹工場を本市に置くミライアル(株)から、自社製作のフェイスガード1500枚の寄贈がありました。フェイスガードは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に尽力する従事者のために有効に活用します。



村田義喜商工観光課長④にフェイスガードを渡すミライアル(株)の榎田昭彦業務部長④

**5月1日 九州ティ・エス株式会社  
自社製作のマスクを寄贈**

九州ティ・エス(株)が二輪用のシートの生産により培われた縫製技術を駆使し、製作したマスク500枚を市へ贈りました。マスクは、市の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、有効活用します。



江頭市長④にマスクを渡す九州ティ・エス(株)の上田隆彦人事・総務部長④

**5月20~31日 子ども食堂「ひのくにスマイル食堂」  
子どもたちと地元企業を笑顔に**

新型コロナウイルス感染症対策により自宅で過ごしている子どもたちを笑顔にしたいと、市内の飲食店が作る弁当を買い取り、100円で配布する取り組みを実施しました。12店が協力し、12日間で約950食を配布しました。



Cafeまる一わの皆さん。NPO法人「全国こども食堂支援センターむすびえ」の助成を受けて100円での提供を実現しました

**5月21日 菊之池小学校放課後児童クラブ  
児童に似顔絵のプレゼント**

似顔絵アーティストのジェロさん(下木庭)と似顔絵教室の生徒2人が菊之池小学校の放課後児童クラブを訪れ、児童25人の似顔絵を描きました。臨時休校が続く中、「子どもたちのためにできることをしたい」との思いから行われました。



子どもたちは「似顔絵を描いてもらってうれしかった」「上手でびっくりした」と喜んでいました